

文教福祉常任委員会活動報告

当委員会では、10月10日、11日の2日間にわたり、福島県檜葉町及び茨城県大子町の視察研修を行いました。

檜葉町では新設した体育施設を視察し、当市の体育施設の老朽化に対する調査を行いました。檜葉町のスカイアリーナという施設は体育館・プール・ランニングコース・フィットネスジムなどの機能を持った複合施設となっており、様々な町民のニーズに合わせた運営を行っていました。担当者は震災後町民が集まれる施設を作りたいとおっしゃっていました。また地域のバスケットボールチームとも連携し、試合の開催もできる施設になっているとの事でした。当市でも新たな体育施設を考える上で有効な取り組みではないかと思いました。大変参考になりました。

大子町では、給食センターの視察を行いました。地元の高校への給食提供を行っているとの事で、当市でも給食センターの活用のあり方を考える点において調査を行いました。高校の存続も考えたうえでの取り組みで、高校の生徒・教職員の6,7割が給食を利用しているとの事でした。また、給食の米飯を業者委託せず、地元のお米を安定して提供することを目的に炊飯センターを整備したそうです。今後の少子化に対して給食施設の有効活用で有意義な取り組みを視察しました。

文教福祉常任委員会 委員長 福田長弘



福島県檜葉町ならはスカイアリーナを見学する委員